

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
(この説明書は、必ず保管しておいてください。)

もくじ

安全上のご注意	P.1	■設置方法	P.3
■施工上のご注意	P.1	■配線形態	P.4
■使用上のご注意	P.1	■使用方法	P.6
■各部の名称	P.2	■光接続箱オプション	P.10
■仕様	P.3		

安全上のご注意

施工、使用（操作・保守・点検）の前に必ずこの説明書とその他の注意書きをすべて熟読し、正しくご使用ください。機器の知識、安全の情報そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。この説明書では、安全注意事項を「注意」として表記してあります。



注意 回避しないと、軽傷または中程度の傷害を招くおそれがある危険な状況および物的損害のみの発生するおそれがある場合を示します。

なお、**注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

● お守りいただく内容を次の図記号で区分しています。

気をつけていただく内容です。

してはいけない内容です。

実行しなければならない内容です。

■施工上のご注意

注意	
	本製品に落下などの強い衝撃を与えないでください。衝撃により破損・へコミ・歪みが発生し、強度低下の原因になります。
	壁面に固定する場合は、十分強度のある壁面に固定してください。落下・破損の原因となります。

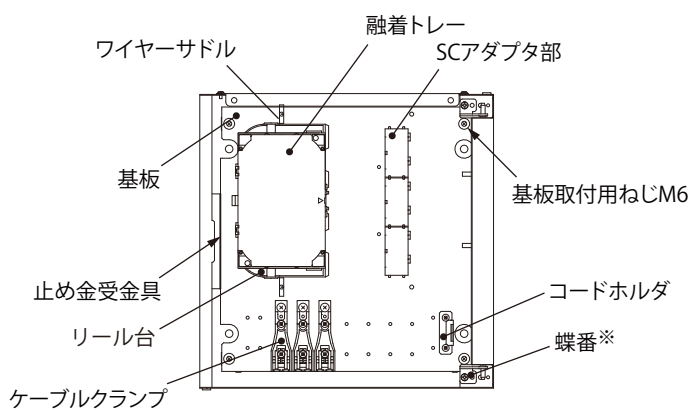
■使用上のご注意

注意									
	<p>ドア、融着トレー、カバーの開閉時、ユニット可動時に指、光ケーブルおよび光ファイバの挟込みや巻きみに十分注意してください。光ファイバ断線の原因になります。</p> <p>結束テープ、結束バンドなどで光ケーブルおよび光コードを固定する際、締付け過ぎに注意してください。伝送損失および光ファイバ断線の原因になります。</p>								
	<p>ドアの開閉角度は約 103°です。扉を開けた状態で、矢印方向にさらに荷重を掛けないでください。ドアおよび蝶番部の変形・破損の原因になります。</p>								
	<p>ハンドルのシリンダーにキーを差した状態で、キーに強い衝撃や荷重を掛けないでください。キー・シリンダーの破損の原因になります。</p> <p>シリンダーにキーを抜き差ししながら回転方向にテンションをかけないでください。キー・シリンダーの破損の原因になります。</p> <p>シリンダーの施錠・解錠位置以外では、キーを無理に引抜かないでください。キー・シリンダーの破損の原因になります。</p>								
	<p>本製品の上に乗ったり、物を載せたり、もたれ掛かったりしないでください。落下・破損・けがの原因になります。</p> <p>次の場所では使用しないでください。故障の原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li style="width: 50%;">・高温、高湿となる場所 <li style="width: 50%;">・腐食性ガスのある場所 <li style="width: 50%;">・振動、衝撃のある場所 <li style="width: 50%;">・可燃性ガスのある場所 <li style="width: 50%;">・塵埃やオイルミストが多い場所 <li style="width: 50%;">・有機溶剤のかかる場所 <li style="width: 50%;">・ノイズ(電界・磁界)の強い場所 <li style="width: 50%;">・水滴のかかる場所 								
	<p>使用するねじは、指定されたものを使用してください。取付けの際は、適正締付トルクにて締付けてください。締付けが不十分な場合、落下・破損の原因になります。また、締付け過ぎの場合は、製品を破損するおそれがあります。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>ねじの呼び</th> <th>適正締付トルク N・m[※]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>M4</td> <td>1.5 ~ 2.0</td> </tr> <tr> <td>M5</td> <td>2.5 ~ 3.0</td> </tr> <tr> <td>M6</td> <td>1.5 ~ 2.0</td> </tr> </tbody> </table> <p><small>※ただし、S タイプねじにおいて締付時の初期トルクはこの限りではありません。</small></p>	ねじの呼び	適正締付トルク N・m [※]	M4	1.5 ~ 2.0	M5	2.5 ~ 3.0	M6	1.5 ~ 2.0
ねじの呼び	適正締付トルク N・m [※]								
M4	1.5 ~ 2.0								
M5	2.5 ~ 3.0								
M6	1.5 ~ 2.0								

■各部の名称

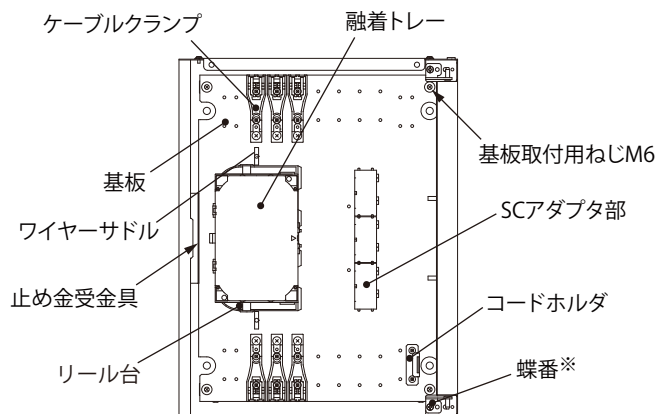
【融着+コネクタ接続タイプ (SPJ-SA)】

〔片側入出線タイプ (-S1)〕



SPJ-SA12-SC-S1

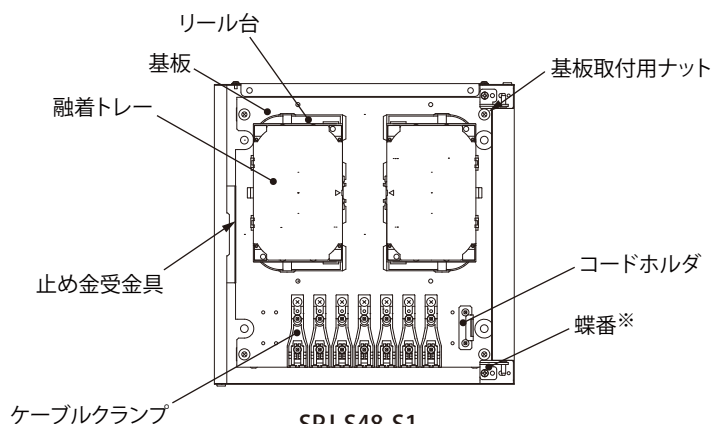
〔上下入出線タイプ (-S2)〕



SPJ-SA12-SC-S2

【融着接続タイプ (SPJ-S)】

〔片側入出線タイプ (-S1)〕



SPJ-S48-S1

※アースねじの取付けができます。

●付属品

品名記号	名称	保護チューブ (6色 1.0m)	補強熱スリーブ 単心用 (60mm)	補強熱スリーブ テープ心用 (40mm)	回線表示 シール	アダプタ番号 シール	ケーブル パッキン	結束 バンド	結束テープ (1.0m)	取扱説明書 (本紙)
SPJ-S12-S1		6本	12本	—	1枚	1枚	2枚	14本	1コ	1部
SPJ-S24-S1		〃	24本	—	〃	〃	〃	〃	〃	〃
SPJ-S48-S1		〃	48本	—	〃	〃	〃	〃	〃	〃
SPJ-SA12-SC-S1		6本	12本	—	1枚	1枚	2枚	14本	1コ	1部
SPJ-SA24-SC-S1		〃	24本	—	〃	〃	〃	〃	〃	〃
SPJ-SA48-SC-S1		〃	48本	—	〃	〃	〃	〃	〃	〃
SPJ-SA12-SC-S2		6本	12本	—	1枚	1枚	2枚	28本	1コ	1部
SPJ-SA24-SC-S2		〃	24本	—	〃	〃	〃	〃	〃	〃
SPJ-SA48-SC-S2		〃	48本	—	〃	〃	〃	〃	〃	〃
SPJ-S12-S1-4T		6本	—	3本	1枚	1枚	2枚	14本	1コ	1部
SPJ-S24-S1-4T		〃	—	6本	〃	〃	〃	〃	〃	〃
SPJ-S48-S1-4T		〃	—	12本	〃	〃	〃	〃	〃	〃
SPJ-SA12-SC-S1-4T		6本	—	3本	1枚	1枚	2枚	14本	1コ	1部
SPJ-SA24-SC-S1-4T		〃	—	6本	〃	〃	〃	〃	〃	〃
SPJ-SA48-SC-S1-4T		〃	—	12本	〃	〃	〃	〃	〃	〃
SPJ-SA12-SC-S2-4T		6本	—	3本	1枚	1枚	2枚	28本	1コ	1部
SPJ-SA24-SC-S2-4T		〃	—	6本	〃	〃	〃	〃	〃	〃
SPJ-SA48-SC-S2-4T		〃	—	12本	〃	〃	〃	〃	〃	〃

本製品には、上記以外に、キャビネット付属品が全機種共通で付属されています。

●キャビネット付属品

名称	数量
アースねじ M5×10	1コ
キー (N200番)	1コ
矢印ラベル	1枚

■仕様

【融着接続タイプ】

品名記号	外形寸法 mm※				接続数 心	アダプタ種類	入出線数	
	W	H	D	A			入線	出線
SPJ-S12-S1(-4T)	250	350	80	33.5	12	-	光ケーブル：3	光コード：12
SPJ-S24-S1(-4T)	〃	〃	〃	〃	24		光ケーブル：4	光コード：24
SPJ-S48-S1(-4T)	350	〃	100	53.5	48		光ケーブル：7	光コード：48

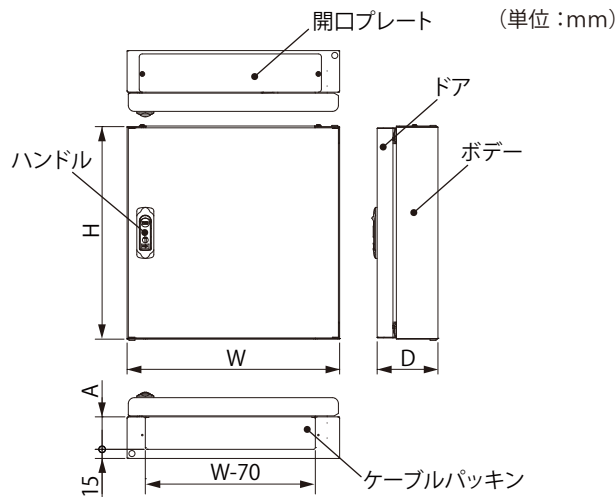
※組替仕様 キャビネットの変更 -BKは、W・Hが+1mm、Dが+2mm大きくなります。

【融着+コネクタ接続タイプ】

品名記号	外形寸法 mm※				接続数 心	アダプタ種類	入出線数	
	W	H	D	A			入線	出線
SPJ-SA12-SC-S1(-4T)	350	350	100	53.5	12	SC(2連式)	光ケーブル：3	光コード：12
SPJ-SA24-SC-S1(-4T)	〃	〃	〃	〃	24		光ケーブル：6	光コード：24
SPJ-SA48-SC-S1(-4T)	〃	550	〃	〃	48		光ケーブル：7	光コード：48
SPJ-SA12-SC-S2(-4T)	350	450	100	53.5	12	SC(2連式)	光ケーブル：6	光コード：12
SPJ-SA24-SC-S2(-4T)	〃	〃	〃	〃	24		光ケーブル：12	光コード：24
SPJ-SA48-SC-S2(-4T)	〃	650	〃	〃	48		光ケーブル：14	光コード：48

※組替仕様 キャビネットの変更 -BKは、W・Hが+1mm、Dが+2mm大きくなります。

【寸法図】



■設置方法

⚠ 注意



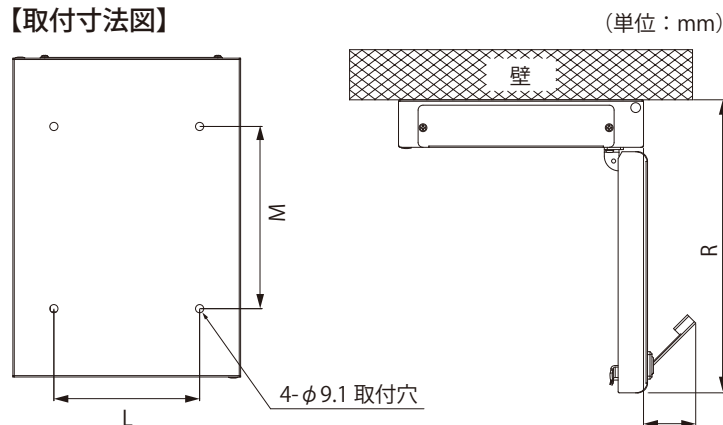
壁面に固定する場合は、十分強度のある壁面に固定してください。
落下・破損の原因となります。

製品を設置する際は背面の取付穴を利用して、壁面に取付けてください。

ご注意

- ・壁際に設置する際は、ドア開閉スペース寸法以上離して取付けてください。
- ・キャビネットの変更(組替仕様 -BOR)などにより、キャビネット背面に壁面取付穴を加工する際は、使用するキャビネットの推奨取付穴位置または、仕様書の取付穴位置に従って穴加工をしてください。

【取付寸法図】



品名記号	取付穴ピッチ mm			ドア開閉スペース mm
	L	M	R	S
SPJ-S12-S1(-4T)	180	220	299	41
SPJ-S24-S1(-4T)	〃	〃	〃	〃
SPJ-S48-S1(-4T)	280	〃	419	〃
SPJ-SA12-SC-S1(-4T)	280	220	419	41
SPJ-SA24-SC-S1(-4T)	〃	〃	〃	〃
SPJ-SA48-SC-S1(-4T)	〃	420	〃	〃
SPJ-SA12-SC-S2(-4T)	280	320	419	41
SPJ-SA24-SC-S2(-4T)	〃	〃	〃	〃
SPJ-SA48-SC-S2(-4T)	〃	520	〃	〃

■配線形態

⚠注意



ドアの開閉方向の変更、光ケーブルおよび光コード入出線方向の変更などは、必ず壁面に取付ける前に行ってください。壁面取付後に作業しますと、部品や製品の落下・破損・けがの原因になります。

- ・ドア開閉方向や光ケーブルおよび光コードの入出線方向を変更することができます。
(P.7「●ドア開閉方向の変更」、P.7「●入出線方向の変更」を参照)
- ・入出線方向側の開口プレートを取外し、付属のケーブルパッキンを貼付けてください。
(P.8「●ケーブルパッキン(付属品)の貼付方法」を参照)

●入出線の適用範囲

○・・・標準仕様

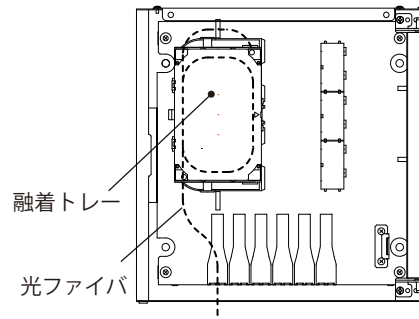
接続機種	光ケーブル⇄光コード	光ケーブル⇄光ケーブル	光コード⇄光コード
SPJ-S	○	○	—
SPJ-SA	○	○	—

【融着+コネクタ接続(SPJ-SA12・24)】

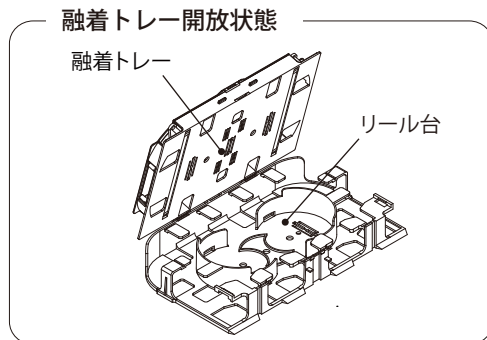
配線例 1 (SPJ-SA24-SC-S1)

1. 光ファイバを融着トレー左下から入線してください。
2. 光コネクタ付コード(FOコード)と融着接続してください。

〔入線(下)/出線(下)〕

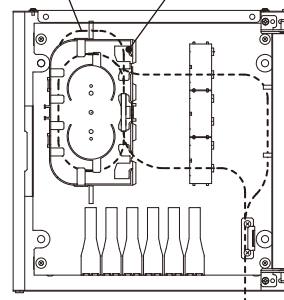


3. 融着した光ファイバ余長を融着トレー下段のリール台に収納してください。
4. FOコードの分岐部(ダム部)は、余長と一緒に束ねて収納してください。



光コネクタ付コード
(FOコード)

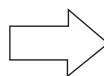
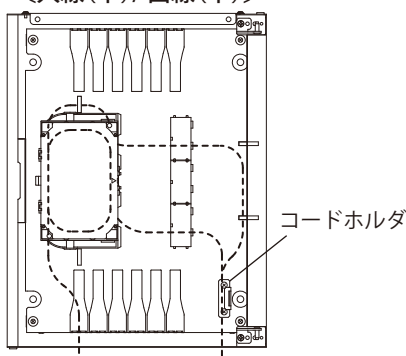
リール台



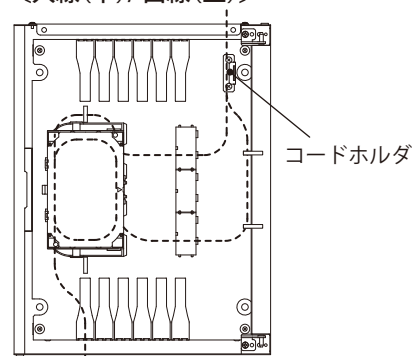
配線例 2 (SPJ-SA24-SC-S2)

コードホルダの位置を下から上に変更することができます。

〔入線(下)/出線(下)〕



〔入線(下)/出線(上)〕

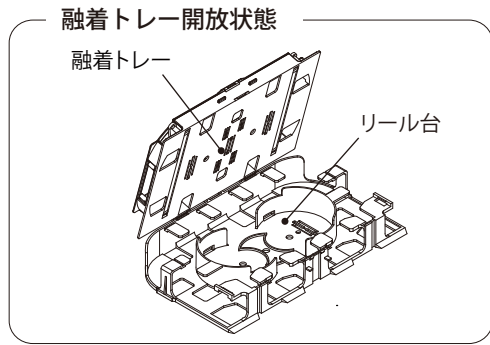


【融着+コネクタ接続(SPJ-SA48)】

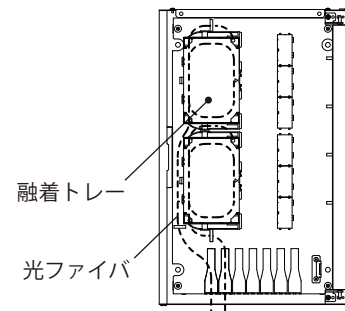
配線例 1 (SPJ-SA48-SC-S1)

1. 光ファイバを融着トレー左下から入線してください。
2. 光コネクタ付コード(FOコード)と融着接続してください。

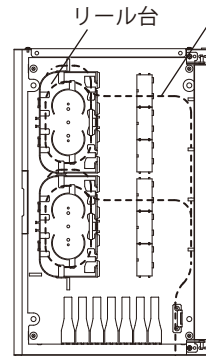
3. 融着した光ファイバ余長を融着トレー下段のリール台に収納してください。
4. FOコードの分岐部(ダム部)は、余長と一緒に束ねて収納してください。



【入線(下)/出線(下)】



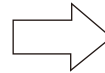
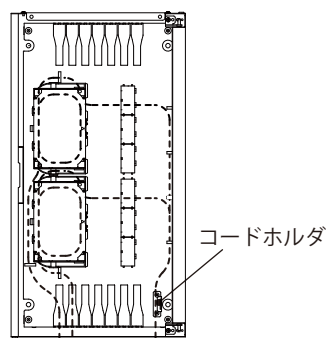
光コネクタ付コード
(FOコード)



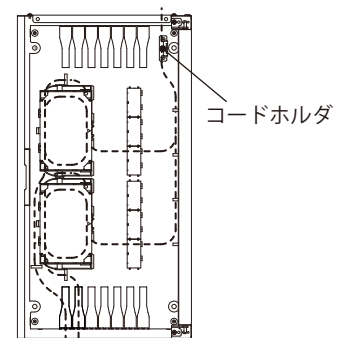
配線例 2 (SPJ-SA48-SC-S2)

コードホルダの位置を下から上に変更することができます。

【入線(下)/出線(下)】



【入線(下)/出線(上)】

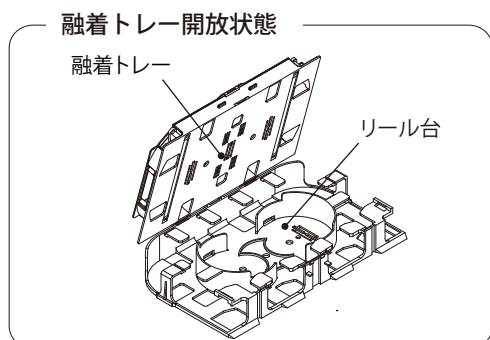


【融着接続 (SPJ-S)】

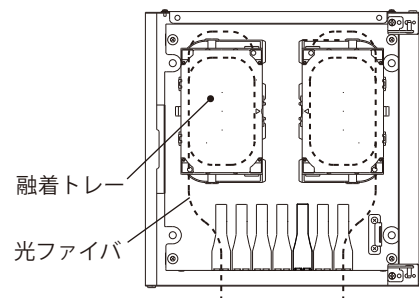
(SPJ-S48-S1)

1. 光ファイバを融着トレー左下から入線してください。
2. 光コネクタ付コード(FOコード)と融着接続してください。

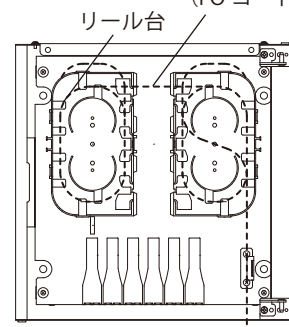
3. 融着した光ファイバ余長を融着トレー下段のリール台に収納してください。
4. FOコードの分岐部(ダム部)は、余長と一緒に束ねて収納してください。



【入線(下)/出線(下)】



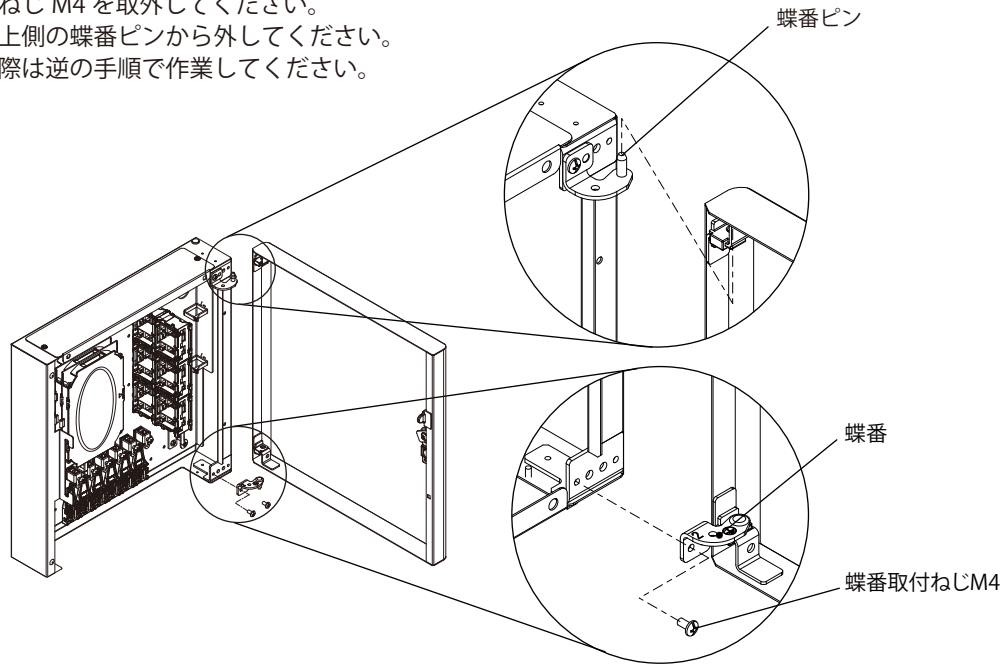
光コネクタ付コード
(FOコード)



■使用方法

●ドアの着脱方法

1. 下側の蝶番取付ねじ M4 を取外してください。
2. ドアを持上げて上側の蝶番ピンから外してください。
3. ドアを取付ける際は逆の手順で作業してください。



⚠ 注意



取付けの際は、適正締付トルクにて締付けてください。締付けが不十分な場合、落下・破損の原因になります。また、締付け過ぎの場合は、製品を破損するおそれがあります。

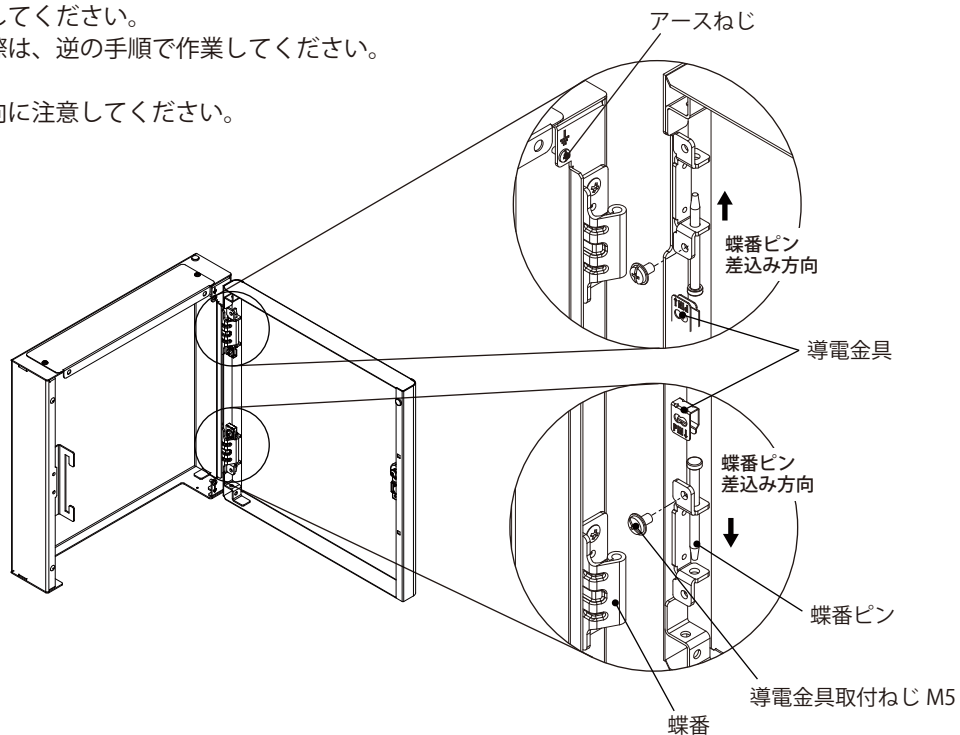
ねじの呼び	適正締付トルク N・m
M4	1.5 ~ 2.0

【組替仕様 キャビネットの変更 -BK】

1. 導電金具取付ねじ M5 を外し、導電金具を取外してください。
2. 蝶番ピンを取外してください。
3. ドアを取付ける際は、逆の手順で作業してください。

ご注意

導電金具の取付方向に注意してください。



⚠ 注意

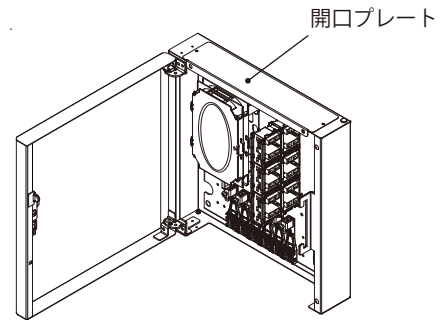
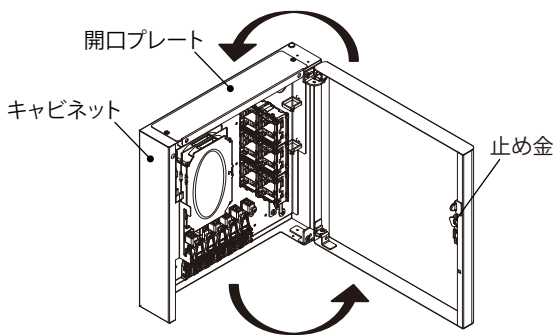


取付けの際は、適正締付トルクにて締付けてください。締付けが不十分な場合、落下・破損の原因になります。また、締付け過ぎの場合は、製品を破損するおそれがあります。

ねじの呼び	適正締付トルク N・m
M5	2.5 ~ 3.0

● ドア開閉方向の変更

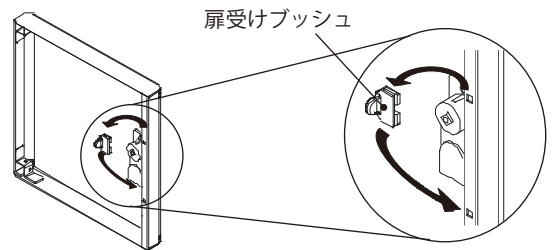
1. キャビネットを上下反転してください。
2. 開口プレートが付替えてください。
3. ハンドルおよび止め金を取外してください。
4. ハンドルの回転方向を変更してください。(「● ハンドルの回転方向の変更」を参照)
基板の上下反転方法については、「● 入出線方向の変更」を参照してください。



5. 扉受けブッシュを付替えてください。

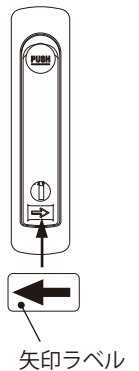
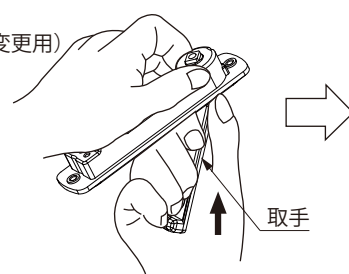
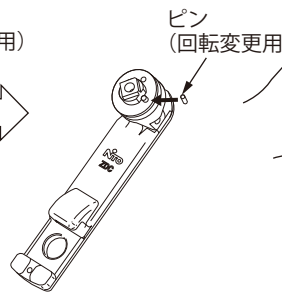
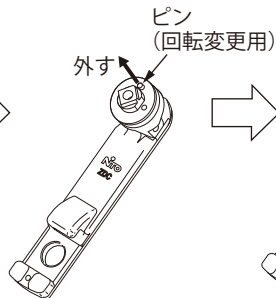
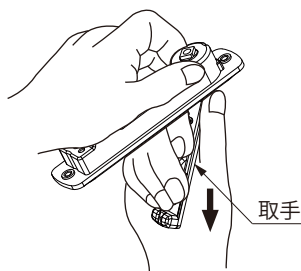
ご注意

組替仕様 キャビネットの変更-BKは、扉受けブッシュを使用していません。



● ハンドルの回転方向の変更

1. 図のような姿勢で取手を下に引抜きます。
2. 図の位置にピンが挿入されています。これを下向きにしてピンをなくさないようにして外します。
3. 図の穴位置にピンを挿入します。
4. 図のような姿勢で取手を本体に確実に組み込みます。
5. 矢印ラベルを重ね貼りします。

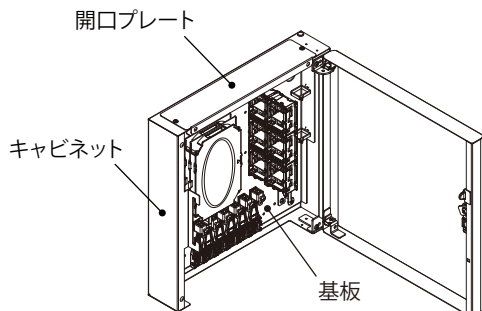


● 入出線方向の変更

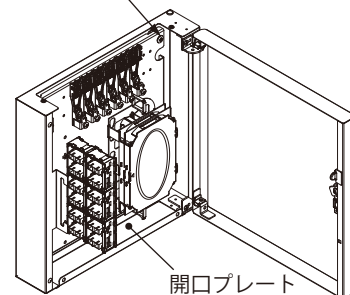
片側入出線【S1】タイプは、すべて下側入出が標準の設定になります。

【上側入出線に変更する場合】

1. 基板取付用ねじ M6 を取外してください。
2. 基板を上下反転し、開口プレートが付替えてください。



基板取付用ねじ M6



⚠ 注意

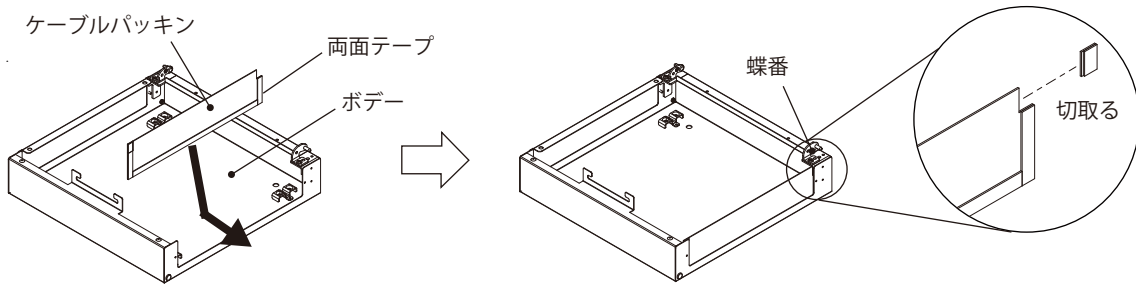


取付けの際は、適正締付トルクにて締付けてください。締付けが不十分な場合、落下・破損の原因になります。また、締付け過ぎの場合は、製品を破損するおそれがあります。

ねじの呼び	適正締付トルク N・m
M6	1.5 ~ 2.0

●ケーブルパッキン(付属品)の貼付方法

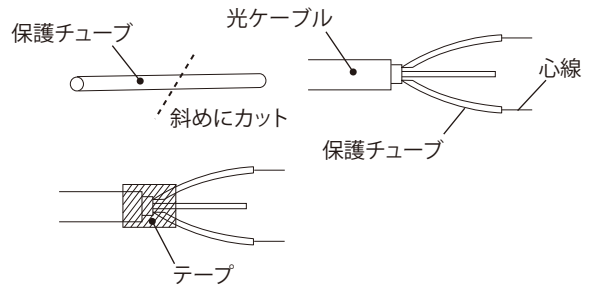
1. ケーブルパッキンの貼付面の汚れ、湿気などを除去してください。
2. ボデーの底面にケーブルパッキンの下側が接するように入出線側のボデーに貼付けてください。
3. ケーブルパッキンの蝶番側をミシン目に沿って切取ってください。



●保護チューブの使用法

【保護チューブの挿入】

1. 保護チューブの先端を斜めに切断してください。
2. 保護チューブを心線に挿入してください。



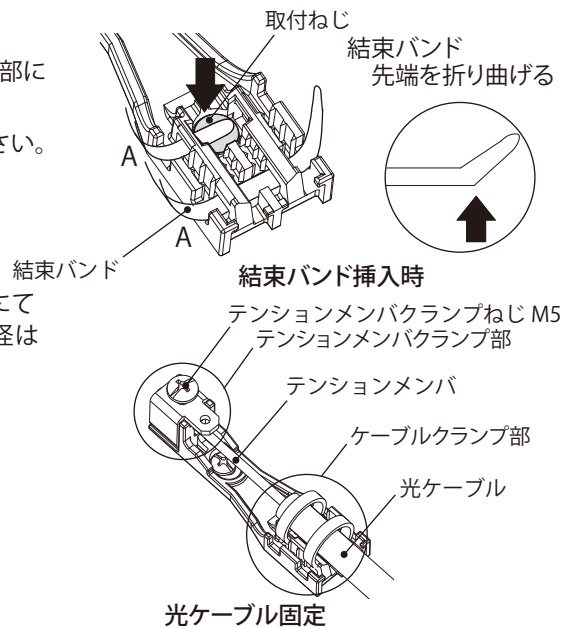
【保護チューブのテーピング】

保護チューブの抜け防止として、チューブとシース剥ぎ取り端部をテーピングしてください。

●ケーブルクランプの使用法

1. 光ケーブル外被をケーブルクランプ部にのせる前に、結束バンドを A 部に挿入してください。

- ・結束バンドを A 部に挿入する際、結束バンドの先端を折り曲げてください。
- ・結束バンドを取付ねじ上部に通す際、指で押えながら挿入してください。



2. 光ケーブルのテンションメンバをテンションメンバクランプねじ M5 にて固定してください。テンションメンバ径は $\phi 4\text{mm}$ まで、光ケーブル径は $\phi 21\text{mm}$ まで把持できます。

⚠ 注意



取付けの際は、適正締付トルクにて締付けてください。締付けが不十分な場合、落下・破損の原因になります。また、締付け過ぎの場合は、製品を破損するおそれがあります。

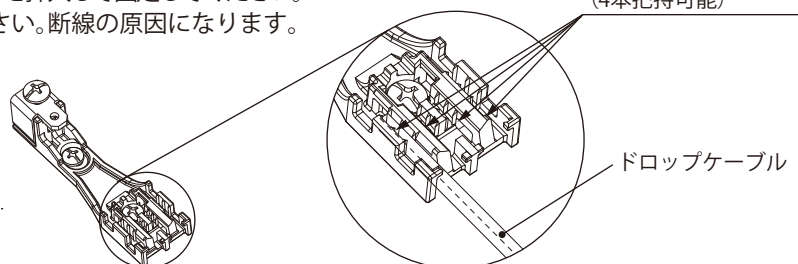
ねじの呼び	適正締付トルク N・m
M5	2.5 ~ 3.0

●ドロップケーブル使用の場合

ドロップケーブルクランプ部にドロップケーブルを挿入して固定してください。

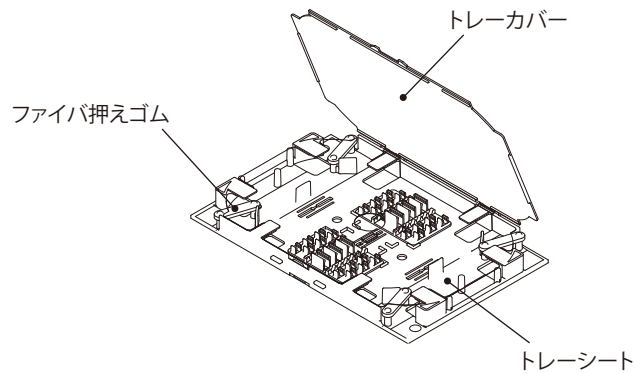
ご注意 光ファイバの挟込みに注意してください。断線の原因になります。

ドロップケーブルクランプ部
(4本把持可能)



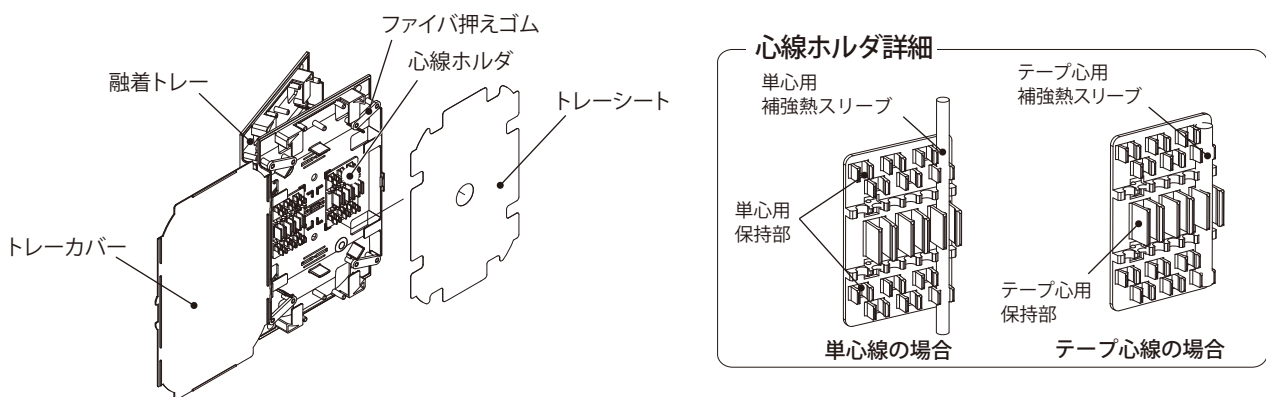
●融着トレーの使用法

1. トレーカバーを開け、トレーシートとファイバ押えゴムを取外してください。



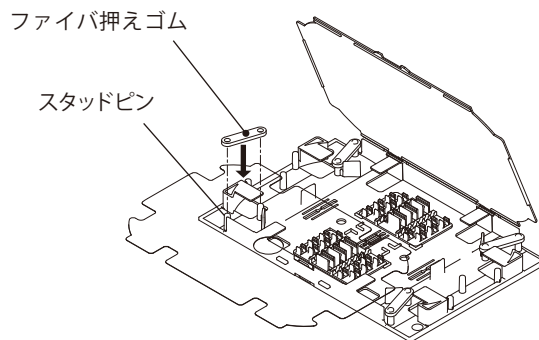
2. 心線ホルダに補強熱スリーブを差込み、余長を融着トレーに収納してください。
融着トレー 1 コで 12 心まで対応できます。

【ご注意】 単心用とテープ心線で補強熱スリーブの保持位置が異なります。



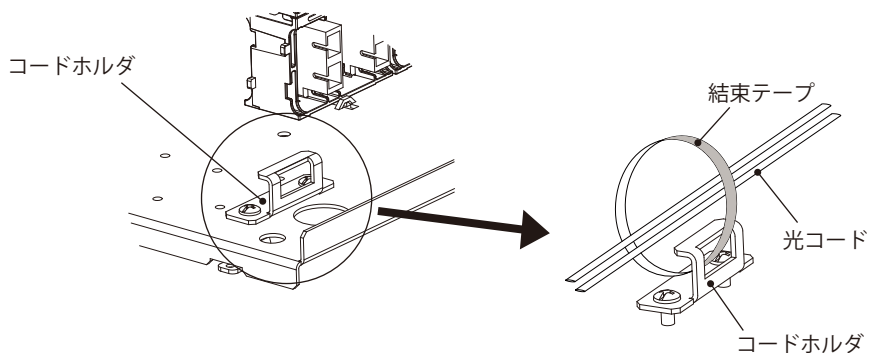
3. スタッドピンおよびファイバ押えゴムで光ファイバの経路を分けることができます。

【ご注意】 光ファイバがはみ出さないようにトレーシートで押え、トレーカバーを閉めてください。



●コードホルダの使用法

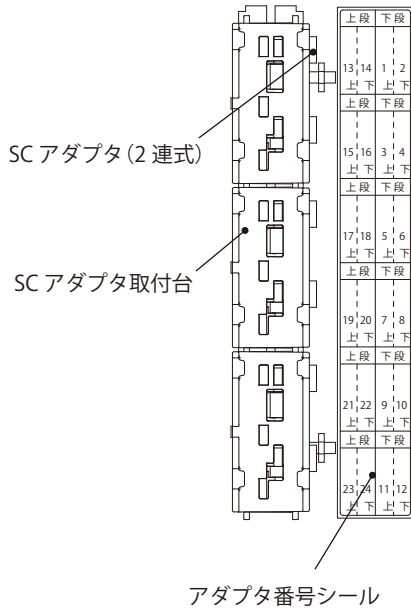
付属の結束テープをコードホルダに挿入し、光コードを固定してください。



●シール(付属品)の貼付例

【アダプタ番号シール】

SCアダプタ取付台の横にアダプタ番号シールを貼付けてください。



アダプタ番号シール

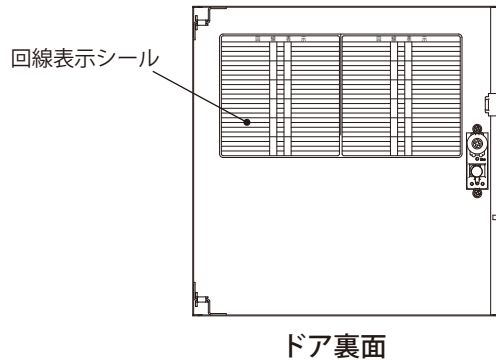
上段		下段		上段		下段							
13,14	1,2	37,38	25,26	1	2	3	4	25,26,27,28					
上下	上下	上下	上下	上			下	上			下		
上段		下段		上段		下段							
15,16	3,4	39,40	27,28	5	6	7	8	29,30,31,32					
上下	上下	上下	上下	上			下	上			下		
上段		下段		上段		下段							
17,18	5,6	41,42	29,30	9	10	11	12	33,34,35,36					
上下	上下	上下	上下	上			下	上			下		
上段		下段		上段		下段							
19,20	7,8	43,44	31,32	13,14	15,16			37,38,39,40					
上下	上下	上下	上下	上			下	上			下		
上段		下段		上段		下段							
21,22	9,10	45,46	33,34	17,18	19,20			41,42,43,44					
上下	上下	上下	上下	上			下	上			下		
上段		下段		上段		下段							
23,24	11,12	47,48	35,36	21,22	23,24			45,46,47,48					
上下	上下	上下	上下	上			下	上			下		

SCアダプタ(2連式)用 LCアダプタ(4連式)用

SCアダプタ(2連式)の場合は、左側のシール、
LCアダプタ(4連式)の場合は、右側のシールを
使用してください。

【回線表示シール】

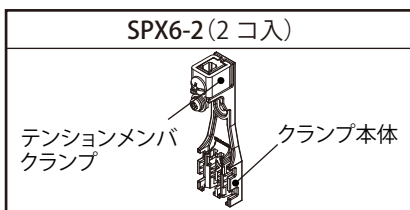
ドア裏面に回線表示シールを貼付けてください。



■光接続箱オプション

●ケーブルクランプの増設

ケーブルクランプを増設する場合は、SPX6-2(2コ入)をご利用ください。増設個数については下記表を参照してください。



品名記号	増設可能クランプ数
SPJ-S12-S1(-4T)	1コ
SPJ-S24-S1(-4T)	—
SPJ-S48-S1(-4T)	—
SPJ-S12-SC-S1(-4T)	4コ
SPJ-S24-SC-S1(-4T)	1コ
SPJ-S48-SC-S1(-4T)	—
SPJ-S12-SC-S2(-4T)	8コ
SPJ-S24-SC-S2(-4T)	2コ
SPJ-S48-SC-S2(-4T)	—

MEMO

MEMO

施工業者名

TEL

施工年月日 年 月 日

仕様など、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。
また、ご不明な点がございましたら弊社お客様相談室にお問合わせください。
この説明書の内容は 2021 年 1 月現在のものです。

B880151924